

## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 ソールドアウト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6553 URL <http://www.sold-out.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 荻原 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 半田 晴彦 TEL 03(6686)0180  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	10,776	4.3	120	△64.0	122	△64.3	63	△73.7
2020年12月期第2四半期	10,334	13.7	333	47.2	343	63.5	240	124.9

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 64百万円 (△71.8%) 2020年12月期第2四半期 226百万円 (112.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	6.05	6.03
2020年12月期第2四半期	23.02	22.95

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,414	3,129	42.2
2020年12月期	6,747	2,964	43.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 3,127百万円 2020年12月期 2,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年12月期の期末配当予想は未定です

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	10.5	470	23.2	470	16.7	300	72.2	28.67円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	10,579,050株	2020年12月期	10,469,300株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	271株	2020年12月期	226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	10,493,784株	2020年12月期2Q	10,461,490株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(会計上の見積りの変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から引き続き持ち直しの動きが見られるものの、度重なる感染拡大により、2021年4月末より全国の一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、足元では、一定の経済活動の制限を受けました。

当社グループの主力事業分野である広告業界においては、2020年の日本の総広告費（注）が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、前年比88.8%の6兆1,594億円と9年ぶりのマイナス成長となりました。その中で、当社が手がけるインターネット広告市場においては、生活様式の変化によるデジタルトランスフォーメーションの加速や巣ごもり需要を取り込み、前年比105.6%の1兆7,567億円の市場規模となりました。しかしながら、経済の回復が期待される一方で変異種拡大の懸念も続いており、ワクチン接種の普及状況と合わせて、今後も新型コロナウイルス感染症の動向が経済に与える影響に、十分注視する必要があります。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、当累計期間内においても、売上高が弱含む場面もあったものの、全体としては売上高も回復基調にあります。一方で、前年同四半期と比べると、販売費及び一般管理費については、2021年4月に新規卒卒者26名の入社による人件費及び本社移転に伴う地代家賃が増加したため、結果として営業利益が減少いたしました。

以上の結果、当社の当第2四半期連結累計期間の連結業績は、下表の通りとなりました。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期 (累計)	2021年12月期 第2四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	10,334	10,776	442	4.3
売上総利益	1,959	2,037	77	4.0
営業利益	333	120	△213	△64.0
経常利益	343	122	△220	△64.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	240	63	△177	△73.7

また、当社グループは、市場環境が大きくかつ急速に変化する中、迅速に意思決定を行い、中長期での事業拡大を進める体制を構築するため、2021年4月1日よりカンパニー制を導入しております。今後収益の柱となるビジネスの種別・状況毎に、「マーケティングカンパニー」「ソフトウェアカンパニー」「メディアカンパニー」「DXカンパニー」の4つのカンパニーを設置しました。これにともない、当第2四半期連結会計期間より、従来の「ネットビジネス支援事業」の単一セグメントから、各カンパニーを基礎とした報告セグメント（「マーケティング事業」「ソフトウェア事業」の2つの報告セグメントと、「その他」の3区分）に変更しております。各セグメントおよびその事業内容については下表のとおりです。なお、前年同四半期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## &lt;セグメント区分について&gt;

セグメント名	所属カンパニー (所属法人)	詳細
マーケティング事業	マーケティングカンパニー (ソウルドアウト株式会社)	デジタルマーケティングサービス(インターネット広告、データマーケティング・コンサルティング)
ソフトウェア事業	ソフトウェアカンパニー (SO Technologies株式会社)	ATOM、ライクル、AG-Boostを中心とした、ソフトウェアサービスの開発・販売
その他	メディアカンパニー (メディアエンジン株式会社)	コンテンツマーケティングによる集客および収益化支援
	DXカンパニー (アンドデジタル株式会社)	データ可視化によるDXコンサルティング支援、クラウドサービスのインテグレーション、DX人材の人材派遣・育成サービス

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<セグメント別業績>

(単位：百万円)

		2020年12月期 第2四半期 (累計)	2021年12月期 第2四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
マーケティング事業	売上高	9,682	9,922	239	2.5
	売上総利益	1,493	1,358	△134	△9.0
	営業利益	776	562	△213	△27.5
ソフトウェア事業	売上高	595	842	247	41.6
	売上総利益	383	478	95	24.8
	営業利益	100	79	△21	△21.0
その他	売上高	221	324	103	46.6
	売上総利益	140	256	116	83.3
	営業利益	△41	△75	△33	—
調整額※	売上高	△165	△313	—	—
	売上総利益	△56	△55	—	—
	営業利益	△501	△446	—	—
合計	売上高	10,334	10,776	442	4.3
	売上総利益	1,959	2,037	77	4.0
	営業利益	333	120	△213	△64.0

※ 調整額は、セグメント間取引および報告セグメントに帰属しない全社費用です

<マーケティング事業>

当社の主力事業であるデジタルマーケティング事業は、検索連動型広告を主とした運用型広告を中心にサービスを提供し、売上高は微増となりました。一方、メディアからのインセンティブ獲得は前年同四半期比では減少したことにより、売上総利益は減少いたしました。また、新規学卒者の入社等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益が減少いたしました。

<ソフトウェア事業>

顧客の年度末需要の取り込みにより伸長した「AG-Boost（運用型広告を中心とした自社開発ツールと人的支援のオールインワンサービス）」、及び新規顧客獲得が好調に推移した「ライクルGMB（Googleマイビジネスの簡易的な登録と集客を支援するサービス）」の貢献により、売上高及び売上総利益は好調に推移いたしました。一方、エンジニアを中心とした中途入社者等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益が減少いたしました。

<その他>

メディアカンパニーにおいては、メディアのマネタイズ支援サービスが継続して伸長し、業績を牽引いたしました。同サービスは新規事業として投資を継続しておりますが、その成果が徐々に拡大しております。

DXカンパニーにおいては、2021年7月1日以降の新たな組織による営業開始に向け、アンドデジタル株式会社への社名変更やグループ内組織再編による事業の承継等、組織基盤の構築に注力いたしました。

(注) 出典：株式会社電通「2020年 日本の広告費」

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べて666百万円増加し、7,414百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金、並びに無形固定資産が増加したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べて501百万円増加し、4,284百万円となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べて165百万円増加し、3,129百万円となりました。これは主に、資本金、及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では、2021年2月9日付「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した通期業績予想から変更はありません。今後、業績予想について修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,397,256	2,518,834
受取手形及び売掛金	2,558,674	2,867,847
その他	88,848	159,809
貸倒引当金	△8,576	△5,714
流動資産合計	5,036,203	5,540,777
固定資産		
有形固定資産		
建物	454,497	454,497
減価償却累計額	△8,466	△23,957
建物(純額)	446,031	430,539
工具、器具及び備品	168,474	180,323
減価償却累計額	△25,017	△41,605
工具、器具及び備品(純額)	143,457	138,718
有形固定資産合計	589,488	569,257
無形固定資産		
ソフトウェア	497,268	540,282
ソフトウェア仮勘定	106,322	176,500
のれん	156,641	178,152
その他	2,717	3,434
無形固定資産合計	762,949	898,370
投資その他の資産		
敷金及び保証金	285,707	217,966
繰延税金資産	56,274	49,541
その他	31,148	152,471
貸倒引当金	△14,323	△14,323
投資その他の資産合計	358,806	405,656
固定資産合計	1,711,244	1,873,285
資産合計	6,747,447	7,414,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,121,943	2,349,531
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	3,534	104,801
未払金	430,621	157,499
未払費用	247,314	235,411
未払法人税等	34,733	66,656
その他	207,056	236,025
流動負債合計	3,545,202	3,149,924
固定負債		
長期借入金	91,230	988,297
資産除去債務	143,622	143,646
その他	2,767	2,298
固定負債合計	237,620	1,134,241
負債合計	3,782,823	4,284,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	600,658	681,300
資本剰余金	559,538	640,180
利益剰余金	1,805,827	1,806,459
自己株式	△726	△804
株主資本合計	2,965,298	3,127,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△694	△120
その他の包括利益累計額合計	△694	△120
新株予約権	19	2,881
純資産合計	2,964,624	3,129,897
負債純資産合計	6,747,447	7,414,062

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	10,334,478	10,776,894
売上原価	8,374,498	8,739,030
売上総利益	1,959,980	2,037,863
販売費及び一般管理費	1,626,106	1,917,548
営業利益	333,873	120,315
営業外収益		
受取手数料	300	—
補助金収入	9,550	7,201
その他	1,896	2,785
営業外収益合計	11,746	9,987
営業外費用		
支払利息	588	873
株式交付費	—	2,849
投資事業組合運用損	402	1,109
新株予約権発行費	—	2,583
貸倒引当金繰入額	1,053	—
その他	549	403
営業外費用合計	2,593	7,820
経常利益	343,026	122,481
特別利益		
投資有価証券売却益	—	659
特別利益合計	—	659
特別損失		
本社移転費用	6,548	—
特別損失合計	6,548	—
税金等調整前四半期純利益	336,478	123,141
法人税、住民税及び事業税	101,033	53,215
法人税等調整額	8,380	6,479
法人税等合計	109,413	59,694
四半期純利益	227,065	63,446
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,734	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,799	63,446

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	227,065	63,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	574
その他の包括利益合計	△139	574
四半期包括利益	226,926	64,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,660	64,020
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,734	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、2021年5月10日開催の当社取締役会において決議された譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行い、資本金80,641千円、資本剰余金80,641千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金681,300千円及び資本準備金640,180千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	マーケティング 事業	ソフトウェア 事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	9,592,332	562,260	10,154,592	179,885	10,334,478	—	10,334,478
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	90,514	32,925	123,439	41,738	165,178	△165,178	—
計	9,682,846	595,186	10,278,032	221,624	10,499,656	△165,178	10,334,478
セグメント利益	776,279	100,550	876,829	△41,633	835,196	△501,322	333,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DX事業およびメディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△501,322千円には、セグメント間取引消去38,459千円、報告セグメントに配賦していない販売費及び一般管理費△539,782千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	マーケティング 事業	ソフトウェア 事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	9,740,068	795,527	10,535,595	241,298	10,776,894	—	10,776,894
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	182,546	47,127	229,674	83,556	313,230	△313,230	—
計	9,922,615	842,654	10,765,269	324,855	11,090,125	△313,230	10,776,894
セグメント利益	562,490	79,426	641,916	△75,554	566,361	△446,046	120,315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、DX事業およびメディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△446,046千円には、セグメント間取引消去96,003千円、報告セグメントに配賦していない販売費及び一般管理費△542,050千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2021年4月1日より導入開始したカンパニー制への組織改革によるグループ内会社分割に伴い、当第2四半期連結会計期間より、従来の「ネットビジネス支援事業」の単一セグメントから、「マーケティング事業」と「ソフトウェア事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。